

## はしがき

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/41242">http://hdl.handle.net/2297/41242</a>

論文集  
第10卷

2014年度

金沢大学人間社会学域経済学類

社会言語学演習

## はしがき

本論集は、金沢大学人間社会学域経済学類社会言語学ゼミ(代表 西嶋義憲)が編集・発行する『論文集』の第10巻です。本巻には6編の論文が収められています。執筆者は、経済学類3年生の山本祥子(やまもとさちこ)さん、同4年生の川崎明美(かわさきあけみ)さん、川田諒(かわたりょう)さん、佐原貴寛(さはらたかひろ)さん、田村隆太(たむらりゅうた)さん、そして、横田哲郎(よこたてつろう)さんです。

巻頭論文「金沢ことばの観光リソースとしての利用」は、本年3月14日開通の北陸新幹線に焦点をあて山本さんが企画・調査した研究です。

2編目の「ネコキャラクタの役割語『ニャ』にみるキャラ語尾の使用状況」は川崎さんの卒業研究です。キャラ語尾「ニャ」という役割語の機能をさまざまな漫画を題材にして調査しています。

3編目の川田さんの「ソーシャルゲームに対する行動経済学的アプローチ」は、人がゲームにのめり込んでしまう原因を多角的にさぐる試みです。

4編目の「種類ごとにみる菓子のネーミングの法則」は昨年度の共同研究を佐原さんがさらに詳細に分析しようとしたものです。

5編目の田村さんの「Magic: The Gathering にみる言語価値」は、複数の言語で発行されているカードの価値の差を日本語と英語について比較しています。

最後の「大学の言語景観」は金沢市内にある3つの大学の案内板について、そこで使用される言語の種類を横田さんが調査しています。

\*

卒ゼミ生の尹秀美(ゆん すうみ)さんは本年4月より広島修道大学に准教授として勤務します。尹さんは8年半前の2006年10月に国費留学生として来日しました。翌2007年4月に金沢大学大学院人間社会環境研究科博士課程に入学し、2009年3月に修士号を、2012年3月に博士号を取得しました。その後、3年間の非常勤講師生活を経て、このポストを獲得しました。ご本人の努力が実を結んだこととなります。おめでとうございます。今後の一層のご活躍を期待します。

今年も4月から新たに学類3年生1名が当ゼミにやってきます。新4年生になる1名と過年度生1名、博士後期課程の社会人院生1名、そして、博士課程に進学予定の国費留学生2名を含めて、総勢6名のゼミになります。さらに、10月からもう1名国費留学生が来られる予定です。